

あきる野市では、平成二十六年四月から、 中学校区ごとに小中一貫教育を実施します

本市の小中一貫教育は、中学校区内の教員が、共通の目標をもち、義務教育九年間を見通した指導や小中学校一体となった取組を行っていく教育です。

各中学校区の保護者・地域の方を対象にした小中一貫教育説明会でお話しした内容を基にしてもう少し詳しくご紹介します。

小中一貫教育を推進する理由

本市の子どものたちの状況を、学力面と生活・行動面の二つの面から把握してみると、次のような課題があることが分かります。

学力面では、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」で東京都と本市の結果を比較すると、小中学校共に学力の定着状況に課題があります。

生活・行動面では、小学校六年生から中学校一年生のところで、不登校の子どもが急が増えるといった課題があります。

これらの背景には、小中学校の学習環境や生活環境の違いがあり、この環境の違いが子どもたちに心理的な不安を与えていることが考えられます。

そこで、小中学校での学習や生活のつながりをより一層重視した指導をすることで、子どもたちが確かな学力を身に付け、より充実した生活が送れるよう、

「小中一貫教育」を推進することとしました。

小中一貫教育で期待できる効果

小中学校の教員が、一貫した指導を行うことで次のような効果が期待できます。

◆子どもについて様々な情報を共有することで、個別指導が充実し、一人一人の能力がさらに伸びることが期待できます。

◆各教科等におけるつまづきやすい学習内容について共有することで、反復指導がより充実し、基礎的・基本的な内容が一層定着することが期待できます。

◆学校生活のきまりの一部共通化や児童会・生徒会行事の一部合同実施、中学校での小学生体験学習など、小中学校一体となった取組を行うことで、中学校入学時に感じる不安が軽減されることが期待できます。

本市の小中一貫教育の特色

一 学習指導要領に即した

小中一貫教育の推進

本市の小中一貫教育は、「生きる力」を育むことを基本理念とした学習指導要領のねらいや趣旨に即して進め、現在使用している教科書を使用し、新たな教科は設定しません。学校の名称や運営上の組織、小学校六年と中学校三年の学年区分も変え

ずに小中一貫教育を推進します。

二 中学校区の実態に即した

小中一貫教育の推進

中学校区ごとに、子どもたちの状況に即して「目指す子ども像」等を設定して、小中学校の教員が共通理解を図って、小中一貫教育を推進します。

各中学校区の目指す子ども像

○秋多中学校区

自分で考え、行動できる子ども

○東中学校区

主体的に学び、行動する子ども

○西中学校区

自ら進んで学び、いきいきと

思考・表現できる子ども

○御堂中学校区

最後まであきらめないで、

挑戦する子ども

○増戸中学校区

やっつけていける人間

○五日市中学校区

明るく 賢く たくましい
五日市の子ども

本市の小中一貫教育の詳細については、教育委員会ホームページに掲載している「あきる野市小中一貫教育推進基本計画」をご覧ください。

次号から、各中学校区の具体的な内容を紹介していきます。

「五日市図書館」 生まれ変わる！

改修工事のため、昨年7月1日(月)より休館していた五日市図書館が、2月1日(土)午前10時、装いも新たに開館しました。

オープンングセレモニーでは、地元市議会議員、教育委員をはじめ、多くの利用者が見守る中、最初に並んだ小学生の姉妹とともにテープカットを行いました。



オープンングセレモニー

2日間のオープンングイベントでは、森っこサンちゃんも登場し、記念のしおりの配布や撮り会、ボランティアグループによる人形劇なども開催しました。多くの市民の方に、伝統ある五日市図書館が生まれ変わる瞬間に立ち会っていただきました。

改修工事では、屋上の破損箇所の補修や外壁の塗装、階段昇

降機の設置やトイレの改修によるバリアフリー化、その他にも書架などの耐震補強を行い、市民の方が安心して、快適に利用できる図書館に整備しました。

また、子ども読書推進計画に基づき、中高生を対象とした図書を集めた、ヤングアダルトコーナーを開設しました。



ヤングアダルトコーナー

今後も、更に利用しやすい図書館を目指し、サービス向上に努めてまいります。

秋流子ども体験塾 小中学生駅伝大会と著名 講師によるランニング クリニックの開催

クリニックの開催

12月14日(土)に秋川流域子ども体験塾実行委員会主催による小中学生駅伝大会とランニングクリニックが都立秋留台公園及び周辺周回コースで開催されました。

参加チームは、あきる野市、日の出町、檜原村の流域の小学生73チーム、中学生33チーム、592人が参加しました。